

# 曲面と家の軸組

北山丸太の柱を曲面状に並べる事により丸太の美しさ、滑らかさを表現しようとした住宅の計画案である。



## 対比で際立つ

丸太の曲面壁には対極の形状として矩形直線状の軸組柱梁を掛け合わせる事で、対比効果により北山丸太の洗練された滑らかさを際立たせようと考えた。

## 楕円の中心性

吹き抜けが楕円状になる事で特殊の吹き抜けには無い中心性が生まれ自然と中心を向くような円居(まどい)となる。

## ほとりの居所

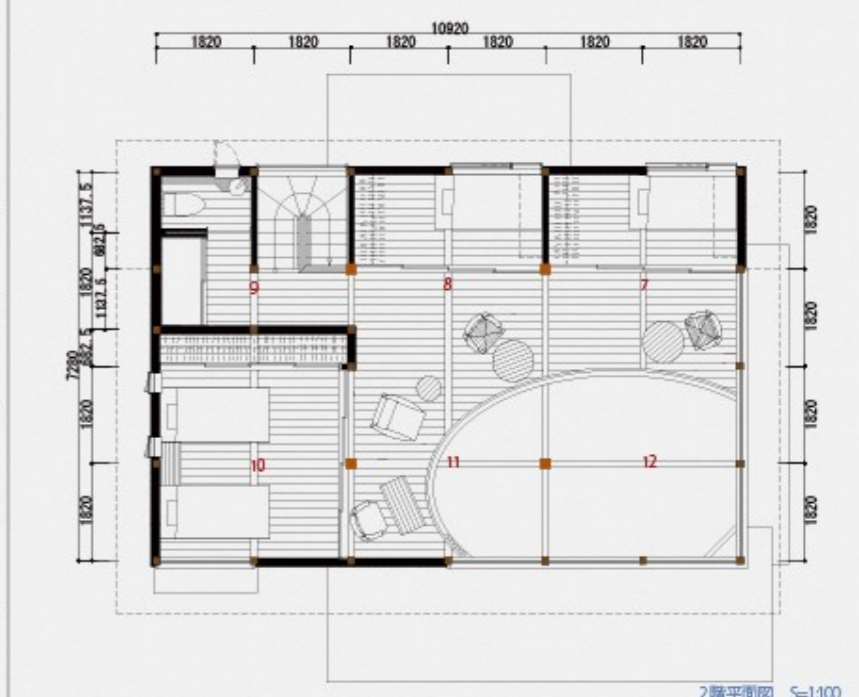
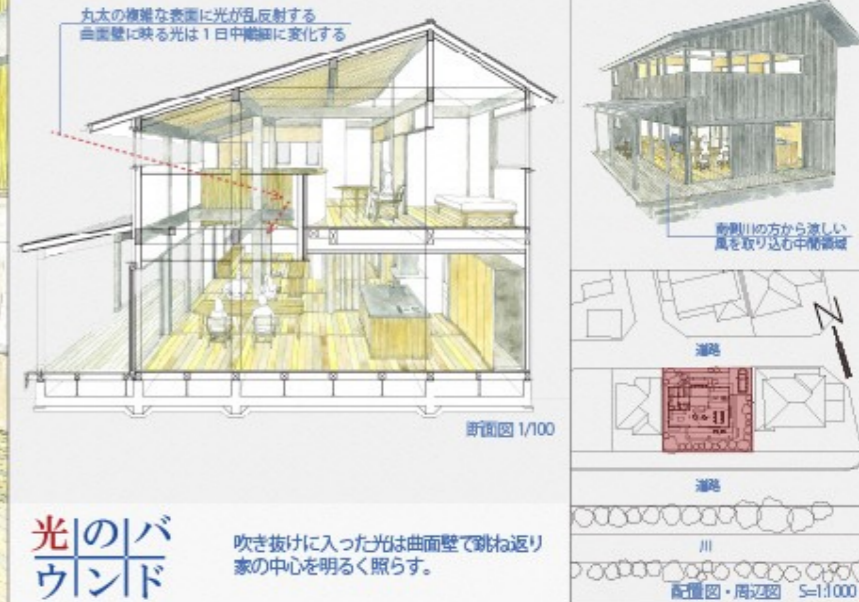
楕円の吹き抜け上下の周りには天井高が抑えられつつも光や風が入る心地の良い居場所が生まれる。まるで湖畔のほとりで佇むように過ごすことができる。

## カーブの誘い

室内外から見え隠れする曲面の輪郭はその奥へといざなうようなシークエンスを作る。吹き抜けは風や光を招き入れるだけでなく住まい手も家の中心へと導く。

## 光のバウンド

吹き抜けに入った光は曲面壁で跳ね返り家の中心を明るく照らす。



## 12象限プラン

軸組により1、2階を6象限ずつ計12象限にシンプルに分けた平面はそれぞれの部屋用途を相互に代替しやすく建物の将来的な使い方の変更に対応できるようにしている。収納家具もできる限り置き家具とする事を想定している。構造耐力要素は北側のフレームに寄せ南側の壁を少なくし平面の自由度を上げようとした。

1 キッチン	7 子供スペース	家訓職 夫婦 子供2人	建築地 大塚市物部外	階数 地上2階
2 玄関・ホール	8 子供スペース	屋 棟 アルミニウム葺	市街化区域	軒 深 5,800 mm
3 水回り・収納・階段	9 水回り・収納・階段	外 壁 珪藻土(不燃)	第1種住居地域	構造 木造
4 リビング	10 主寝室	軒 天 ケイ酸カルシウム板	洗2系区域	基礎 RCベタ基礎
5 リビング	11 親スペース・吹抜	彩板 告示1352号	敷地面積 257.30㎡	容積率 37.82% < 50%
6 ダイニング	12 吹抜	開口部 木製サッシ	延床面積 97.30㎡	構造率 37.82% < 50%
			延床面積 140.84㎡	容積率 54.74% < 100%